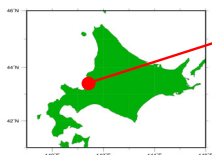


2009年春のサケ幼稚魚生息環境速報

石狩市厚田沿岸(第7報:2009年6月3日調査)

水産総合研究センターさけますセンター千歳事業所

水温、プランクトン湿重量及びサケ稚魚の出現状況を調査しましたので概要をお知らせします。



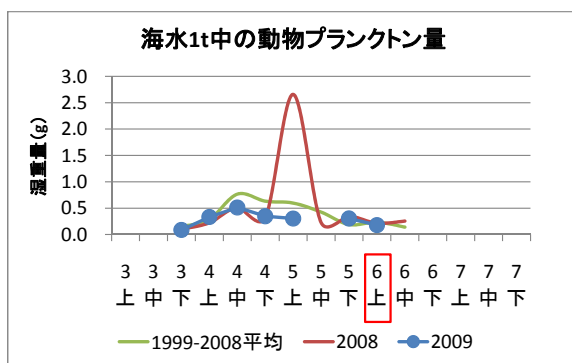
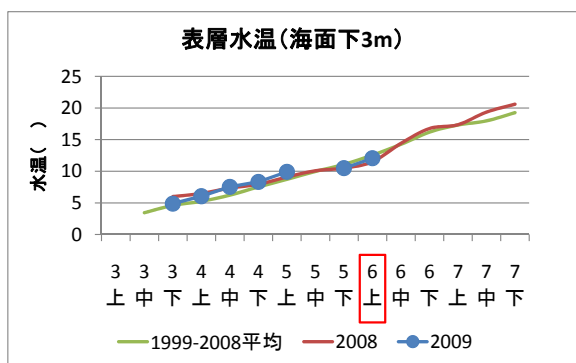
観測場所：石狩市厚田地先
緯度：43°22'N
経度：141°24'E
水深：20m

今期の特徴

・ニジンの来遊が近年最多記録を更新。産卵行動のため海面が白く濁る「群来(くき)」が観察された(漁業者談)。
・本観測点(離岸距離1.5km)におけるサケ稚魚の採捕はなかったが、岸よりの定点(離岸距離0.5km)において72尾が採捕され、稚魚は前回の調査(5/21)同様、岸よりに分布している模様。採捕された稚魚は大型の個体が多かった。

○表層水温は 12.1℃
・前年に比べ ほぼ同じ
・過去10カ年平均に比べ ほぼ同じ

○プランクトン湿重量は 179 mg
・前年に比べ 少ない
・過去10カ年平均に比べ 少ない



○サケ稚魚採捕数は 0尾
・前年に比べ 同じ
・過去10カ年平均に比べ 少ない

